

平成30年度 名古屋高速道路公社 入札監視委員会の結果について

開催日及び場所	平成30年7月20日(金) 名古屋高速道路公社 黒川ビル2階 大会議室	
委員	長谷川 ふき子(委員長 弁護士)・張 鋒(大学教授)・野田 直季(公認会計士) (敬称略)	
審議対象期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日	
抽出事案 〔工事〕	総件数 2件	
一般競争入札	(総合評価落札方式) 2件	平成29年度高速1号楠線舗装修繕工事(第3工区) 平成29年度高速都心環状線明道町他伸縮装置等修繕工事
抽出事案 〔建設コンサルタント業務等〕	総件数 2件	
一般競争入札	(総合評価落札方式) 1件	平成29年度名古屋高速道路の維持管理に関する調査研究資料作成業務委託
	(価格競争方式) 1件	平成29年度高架下植栽管理等業務委託
委員の質問等 に対する回答	質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
講評	<p>①抽出事案につき適切な入札管理がなされている。</p> <p>②品質管理が維持されるよう低入札による弊害が生ずることなく入札管理を進めていただきたい。</p>	

委員の質問等に対する回答

1) 工事

抽出事案	質問	回答
平成29年度高速1号楠線舗装修繕工事 (第3工区)【一般競争】	低入札になった理由は。	低入札になった理由は、同時に4工区発注し、1工区しか受注できないという条件での発注であったため参加者数が8者となり競争原理が働いたと推測される。 なお、受注者は舗装材料プラントを有することで安価に材料調達ができると確認している。
平成29年度高速都心環状線明道町他伸縮装置等修繕工事【一般競争】	落札率が高かった理由は。	落札率が高かった理由については、明確な理由はわからないが、施工場所が26箇所に点在しており小規模な足場の設置・撤去や資材の搬入・搬出が伴うこと、施工箇所の半分が桁の中という狭隘な条件での施工であり施工効率が上がらないこと、積算基準を閲覧できることも要因だと推測される。なお、予定価格は事前公表している。

2) 建設コンサルタント業務等

抽出事案	質問	回答
平成29年度名古屋高速道路の維持管理に関する調査研究資料作成業務委託【一般競争】	当初発注時に不調となり、再発注した業務であるため以下の点について知りたい。 ・不調になった理由は。 ・見直した内容は。 ・落札率が高かった理由は。	不調になった理由は、他団体の業務期間と重複し、受注が厳しい状況であったこと、本業務が高難度であることが要因だと推測される。 見直した内容は、他団体の業務期間との重複を避けるため、業務期間の変更を行ったことである。 落札率が高かった理由については、明確な理由は不明。なお、予定価格は事前公表している。
平成29年度高架下植栽管理等業務委託【一般競争】	参加者が多かった理由は。	参加者が多かった理由は、本業務が特に高度な設備や技術を要さない業務であること、入札参加資格を満たす業者が130者と多かったことが要因だと推測される。